

熱暴露保護試験(1.0 版)

本資料は、林野火災用消火薬剤の評価ガイドラインに基づく熱暴露保護試験（通称：LIFT 試験（Lateral Ignition and Flame spread Test））の手順を示すものである。なお、本資料の作成に当たっては、米国農務省（USFS）の STP-2.2 の例によることを基本としつつ、試験に用いる機器や材料等について、必要に応じて国内の実情に合わせたものとしている。

1 概要

消火薬剤を塗布した試験片（木材）を輻射熱で強く熱し、生じた可燃性蒸気に引火するまでの時間を測定する。

2 対象

- 泡消火薬剤・浸潤剤（混合物）
- ゲル剤（混合物）

3 試験器具等

- (1) ISO5658-2 火災伝播試験による試験装置（輻射熱パネルがあり、垂直に立てた試験片を加熱できるもの）
- (2) パイロットバーナー（試験片の強熱時に生じる可燃性蒸気に引火させるもの）
- (3) 試験片：OSB（Oriented Strand Board（配向性ストランドボード）、寸法 152mm×150mm×26mm）

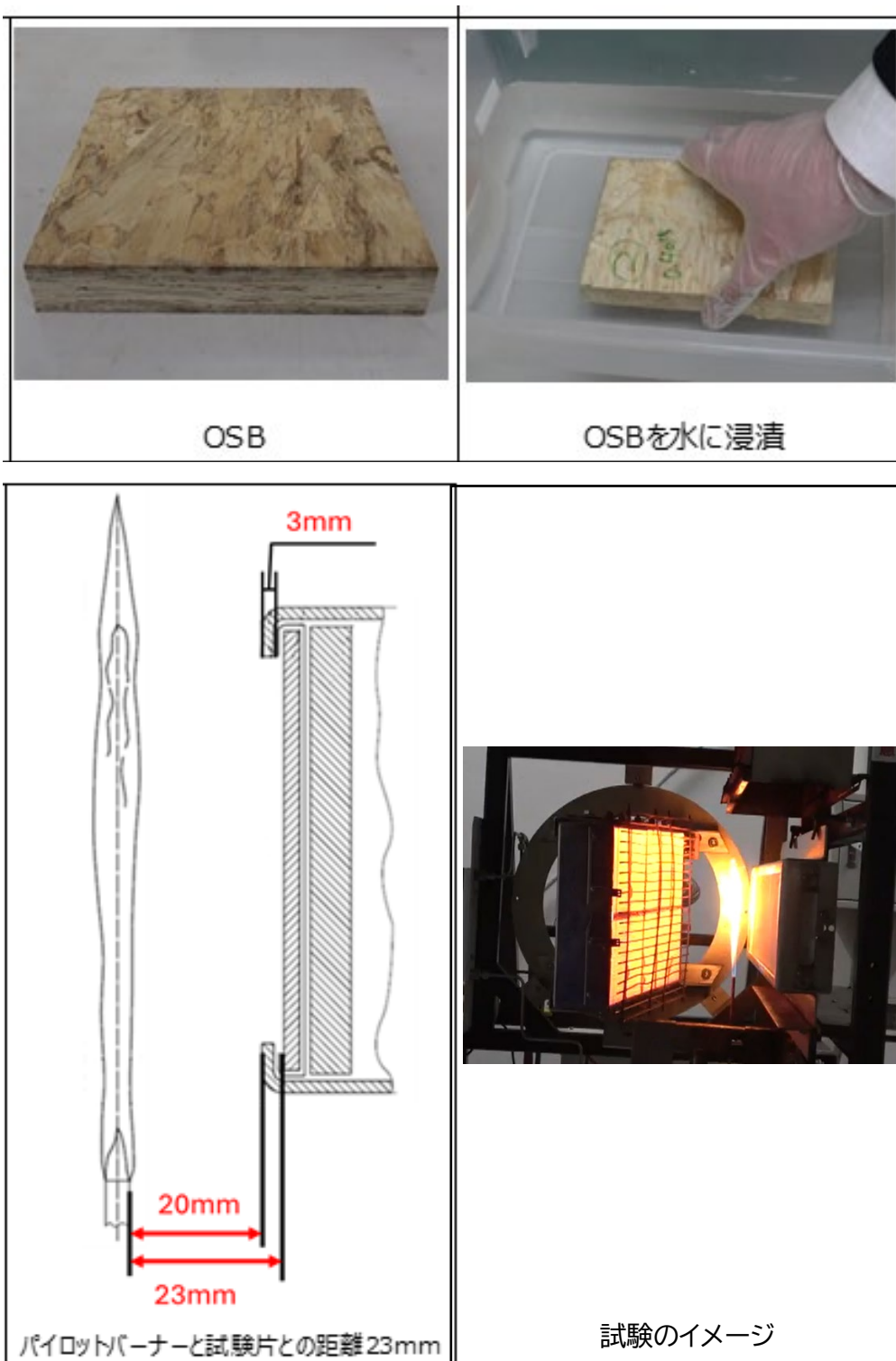
4 試験方法

- (1) 試験片を 40℃の恒温槽に保管し、質量が一定になるまで乾燥させる（概ね 2 日以上）。試験前に質量を測定する。
- (2) 水又は混合物（泡消火薬剤・浸潤剤又はゲル剤）を 4L 用意する。
- (3) 試験片全体を浸漬できる容器に水又は混合物 4L を注ぐ。
- (4) 試験片を、水又は泡消火薬剤・浸潤剤の混合物にあっては 5 分間浸漬、ゲル剤の混合物にあっては 30 秒間浸漬し、浸漬後の質量を測定する。
- (5) 水又は混合物に浸漬させた試験片を試験装置に取り付け、パイロットバーナーを垂直にして試験片までの距離が約 23mm となるよう設定する。
- (6) 試験片に 40kW/m²の輻射熱を当てて引火するまでの時間を測定する。

5 試験結果の取扱い

水及び混合物を使用した試験を 3 回以上実施し、平均値を求めて、試験結果報告書に記載する。

6 参考図等



変更履歴表

版数	年月日	変更箇所：変更内容
1.0	2026/7/22	新規作成